



近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3

TEL.426-3600 FAX.424-1474

http://www2.kinzei.or.jp/wakayama/



### 土谷〈どや〉の棚田(長崎県松浦市福島町)

伊万里湾の外、玄界灘に面した棚田で日本の棚田百選の一つ。

夕暮れ時には玄界灘に沈む夕日と棚田を一緒に撮影できる全国的にも珍しいスポットで、近年人気が高まっており、全国から大勢の写真愛好家が訪れ、田植えシーズンの4月上旬から5月には畦道に三脚が並び、競い合うようにシャッターを切る姿が見られるようになった。

ここは福島町の西側に当たり、海岸から標高120mまでの斜面上に、面積約7ha、400枚の田が階段状に続いている。棚田は明治時代から昭和初期にかけて開墾された。

最近では空き缶を使った松明約2000本を畦道にかかげることにより、幻想的な光景を浮かび上がらせる「土谷棚田火祭り」が開催されている。本年度の火祭り開催日は2008年9月14日の予定。

## ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇目次◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- ご挨拶 ..... 2
- 着任のご挨拶.....2
- 新任署長、副署長へのインタビュー .....3
- e-Taxの普及に向けた取組について.....4
- 読書会 .....4
- 高齢化社会の生き方 .....5

- 「5年ひと昔」 .....6
- 二人でゴール..... 6
- 歩兵第六十一聯隊  
創立百周年式典に出席して .....7
- 支部行事風景 .....7
- 新入会員等紹介 .....8

## ご挨拶



和歌山支部長 稲田 稔彦

会員諸先生方には、益々ご健勝の段慶賀に存じます。又、日頃先生方には会務運営に深いご理解とご協力を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

先の支部総会では、支部交付金減額に伴う支部会費増額をお願いしましたところ、先生方には時節柄、諸事高騰にも拘わりませず快く増額に応じて頂き、心から感謝申し上げます。これも常日頃、支部を応援して頂いている先生方の心の現われだと存じます。

また、平成19年度の国税電子申告・電子納税(e-Tax)達成率では、大阪国税局の中の大規模支部では、当和歌山支部が22%という最高率を達成し局長表彰を頂きました。これも偏に先生方のご努力の賜物と感じております。

e-Taxの利用率を更に増やすには、個人の確定申告期を除けば、法人の申告申請です。法人のe-Tax利用時に、地方税電子申告(eL-Tax)も利用出来れば便利です。

和歌山県と田辺市では、eL-Taxを利用出来ますが他の市ではまだ利用できません。電子申告は、国税・地方税揃って初めて便利な電子申告となり、多くの地方公共団体での電子申告制度の導入が待たれます。

e-Taxも大いに改良され使いやすくなりましたが、まだまだ発展途上です。今まで以上に効率的で経済的な電子申告が出来て、誰もが利用し、効率的な事務の改革を図れるのが待たれます。

昨年より引き続いている米国での低所得者向けの住宅融資サブプライムローンに起因する金融不安、そして原油価格の高騰は、食料品を含む資源価格の高騰も含めその規模をより大きくしています。

米国民の住宅を求める努力が住宅価格高騰・融資過大をもたらし、反転して住宅価格下落・信用不安を招いています。中国をはじめとする発展途上国の努力が原油・食料品の需要増大をもたらし、価格高騰を招き、それが投機資金の増大を招き、価格高騰を更に大きくしています。いずれは、反転収束し、新たな社会秩序を作りますが、一時不便を強いられます。

人々は、より便利で快適な生活を求め努力し、社会はつねに変化しますが、その過程では様々な事が起こります。それが好況であり、不況であり、また社会の進歩であります。

最後になりましたが、支部会員先生方のご健勝とご事業のご繁栄を祈念致しまして挨拶と致します。



## 着任のご挨拶



和歌山税務署長 折井 卓

秋涼の候、近畿税理士会和歌山支部の諸先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素から税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大のご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

私は、この度の定期人事異動により、和歌山税務署長を拝命し、過日着任いたしました。

和歌山税務署勤務は今回が初めてでございますが、平成14年7月からの2年間、海南税務署に勤務しておりましたので、徳川御三家の一つ紀州藩のお膝元として栄え、歴史と伝統文化に溢れた人情味豊かなご当地の状況は、折に触れ拝見しておりました。このような和歌山に縁あって勤務できることは大変光栄であるとともに、職責の重要性を感じている次第であります。

ところで、税務行政を取り巻く環境は、少子・高齢化など社会構造の変化や経済のグローバル化に伴い申告者数が大幅に増加する中、事務は一層複雑・困難化しており、また、今春の道路特定財源を巡る問題、あるいは昨今の消費税率引き上げや相続税見直しを中心とした税制論議など、国民の皆様の税に対する関心はますます高まっております。

一方で、国家公務員の定員事情は厳しい状況にあり、限られた人的資源・物的資源をいかに最大限に活用していくかが求められております。

このため、国税庁におきましては、平成18年3月に「国税関係業務の業務・システム最適化計画」を策定・公表し、e-Taxの普及拡大のための機能・運用の改善、納税者窓口関係事務の一本化、電話相談の集中化などの各種施策に取り組んでいるところであり、環境の変化に適切に対応しつつ、適正・公平な課税の実現に向けて、国民の皆様のご理解と信頼を得られるよう最善を尽くす所存であります。

しかしながら、これらを推し進めていくためには、私どもの力だけでは到底成し得るものではなく、税の専門家として豊かな経験と高い見識をお持ちの税理士先生方のご理解とご協力が必要不可欠であります。

e-Taxの普及拡大に当たりましては、貴支部の積極的な取組が和歌山税務署管内の利用率の向上に多大の貢献があったとして、この5月に大阪国税局長から感謝状が贈呈されました。これも、平成18年11月のe-Tax利用推進宣言を機に電子申告普及推進委員会の設置など支部として体制を整備されるとともに、個々の先生方の普及拡大に向けての強い意欲と問題意識を持った前向きな姿勢が相まって支部を挙げて積極的に取り組んでいた結果であると聞いております。

平成22年度の最終目標に向け、より一層の積極的な取組をお願いする次第であります。

今、税務行政は大きな変革の時期にあり、従来にはなかった観点からの施策も多く、様々な課題に直面することと思いますが、今後とも貴支部との連携を密にし、諸先生方のご意見を十分に受け賜りながら、税務行政の円

滑な運営に努めてまいりますので、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿税理士会和歌山支部の益々のご発展と会員の先生方のご事業のご繁栄並びにご健勝を心から祈念いたしまして、着任のごあいさつとさせていただきます。

## インタビュー



### 質問

- ①ご出身地  
子供の頃のおもいで
- ②入署のきっかけ
- ③今までの仕事で  
印象に残ったこと
- ④和歌山についての印象
- ⑤最後に一言

## 折井 卓 和歌山税務署長

前任:大阪国税局課税第二部資料調査第1課長

- ①京都市北区の生まれで、子供の頃は、北野天満宮や大徳寺でよく遊んでいました。また、親に連れられて大文字焼きを見に行ったり、嵐山や鴨川で泳いだことが今でも懐かしく憶えています。
- ②銀行員になろうか公務員になろうか思案していたところ、2歳上の兄が税務署に勤めており、彼の話を知ると何となくやりがいを感じたので、試験を受けました。今では、兄に感謝しています。
- ③国税局調査部の特別国税調査官として、大法人の調査を担当した2年間がこれまでに最も充実した仕事をさせてもらったと感じております。全国エリアの調査展開で、身体的にはしんどい時もありましたが、何しろ先方はグローバル取引で、その上に移転価格、国際租税回避、デリバティブなど先端分野取引が多く、英語の辞書を片手に悪戦苦闘の日々でありました。仕事の成果はそれほど大きいものではありませんでしたが、自分自身の財産として視野を広め、知識もたくさん習得できましたので、本当に有意義な2年間でした。
- ④平成14、15年にお隣の海南税務署で勤務しておりましたので、5年ぶりになつかしい和歌山に戻ってきたという思いです。和歌山市は歴史のある城下町で、風光明媚で海があります。以前、単身赴任していた四国の松山市とよく似ており、親しみを感じる大好きな街であります。
- ⑤適正・公平な課税の実現と心温かい行政の推進に努め、国民・納税者の皆様から信頼される税務行政の確立に全力を傾注する所存であります。現在、税務の職場は世代交代が進む一方、組織改革や事務運営の変更など大きな過渡期にあり、取り組むべき課題がたくさんあります。どうか、引き続き先生方のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## インタビュー



## 東北 篤 和歌山税務署 副署長 担当:個人・資産

前任:大阪国税局総務部税務相談室(和歌山分室) 税務相談官

- ①大阪市旭区の生まれです。自転車で淀川のわんどによく小魚を取りに行きました。
- ②和歌山大学で会計学を専攻していた関係で税務会計の仕事に興味がありました。ゼミで国税専門官採用試験があることを知り、少し受験勉強したところ、幸いにも合格できましたので国税に就職しました。
- ③路線価図等は、今ではインターネットによる公開が主流となり、国税局では平成20年分から紙ベースのものは作成していませんが、私が平成4年に国税局資産評価官で路線価図等の作成に携わっていたときは、紙ベースのみで公開していました。当時は、地価税の導入(今は凍結されている)により路線価地域が従前の何倍にも拡大し、事務量が一気に増加した影響で、印刷原稿を昼夜を問わず作成してやっと公開に間に合いました。ところが、急いで作業したせいで、公開後に路線価図等に多数の誤りがあることが判明し、その正誤表作成にも大きな事務量がかかり、冷や汗をかいたといえますか、大変な思いをしたことです。
- ④和歌山税務署の勤務は2度目ですが、そのほか粉河、御坊の両税務署でも勤務しており、和歌山とは馴染みの深い人間です。和歌山は人情ある土地柄でこの勤務でも思い出深いものがあり、今度の勤務でもいい思い出を作りたいと思っています。
- ⑤税に関しまして、納税者の皆様十分に説明し、納得していただける税務行政を心掛けたいと思っています。更に、申告等の利便性の向上のため、引き続きe-Taxの普及拡大に努めたいと思っておりますが、普及率のアップには税理士先生方のご協力が必要不可欠ですので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## インタビュー



## 岸部 輝一 和歌山税務署 副署長 担当:法人・酒税

前任:大阪国税局総務部総務課 課長補佐

- ①生まれは大阪府泉南市です。子供のころは、近くの広場で野球ばかりしていました。
- ②公の仕事に興味があったのと採用時研修として税務大学校で一年間勉強できるということから、税務職員を選んだのではなかったかと思えます。
- ③国税局で税理士担当の課長補佐をしていた時、行政と税理士の立場は違いますが「納税義務の適正な実現を図る」という共通の使命達成のため、近畿税理士会の先生方と税務支援のあり方などについて議論したことが印象に残っています。
- ④和歌山署は4回目の6年目、県下の署は4署で通算11年目の勤務となります。また、結婚した当時4年間和歌山市に住んでいたこともあって、第二のふるさとと思っています。
- ⑤昨年度和歌山支部の先生方に多大な協力をいただいたe-Taxの普及拡大につきまして、本年度も更に積極的に取り組んでいきたいと考えています。より一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

# e-Taxの普及に向けた取組について



和歌山税務署

国税庁においては、e-Taxの普及を当面の最重要課題と位置付け、平成18年3月に決定した国税関係手続の「オンライン利用促進のための行動計画（平成19年3月改定）」に基づき、庁・局・署を挙げて諸施策を推し進めているところです。

今後とも、e-Taxがさらに便利で使いやすいものとなるよう機能・運用の改善を進めるとともに、税理士会や関係民間団体のご協力を得ながら、各種施策を推し進めて参りたいと考えています。

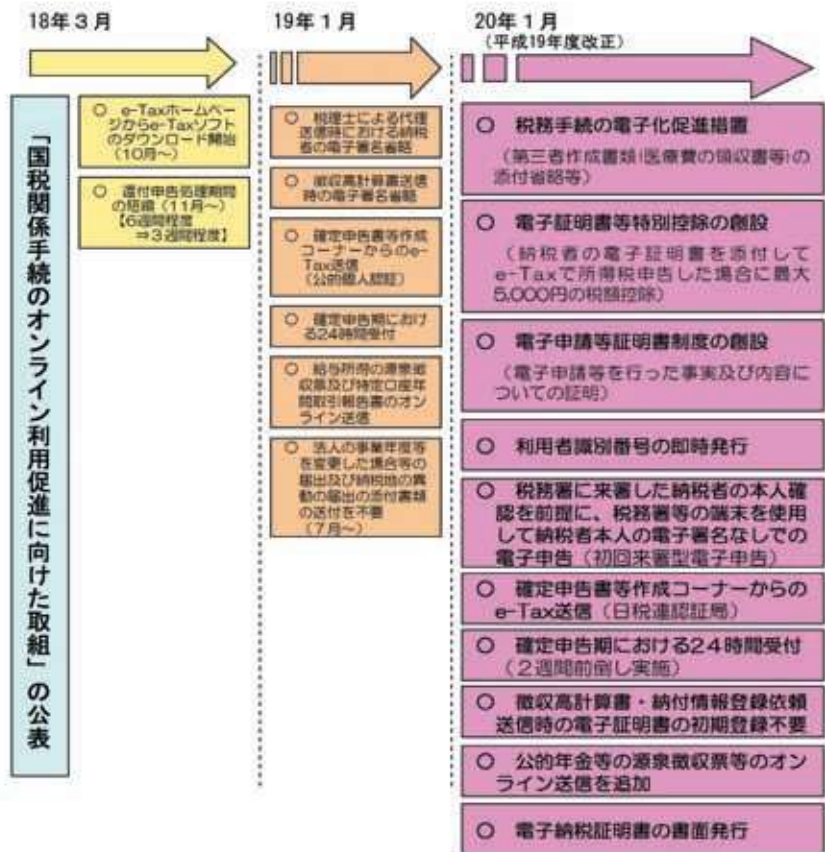
## (オンライン利用率の目標)

17年度 (実績)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
0.3%	2%	3%	8%	22%	50%

※ 特に利用者ニーズが大きい手続  
 ・ 法人消費税申告(消費税額4,800万円超の大規模法人)  
 ・ 印紙税申告(毎月申告の金融機関等)  
 ・ 酒税申告(毎月申告の酒類製造業者)

→ 平成20年度までに50%を目標とする。

## (オンライン利用促進に向けた具体的な取組)



## 読書会

山西 良子



三年程前から、学生時代の友人数人と日本の古典の読書会をほぼ月一回のペースで楽しんでいます。

今は徒然草と古事記を並行して読んでいます。

専門家がいるわけでもなく、学問的に正確な知識を求めようとしているわけでもないで、仲間内で勝手な解釈をして楽しんでいます。

徒然草は高校の古文の教科書にいくつか出ていて、序段「つれづれなるままに」、百九段「高名の木登り」百三十七段「花は盛りに、月は隈なきをのみ、見

るものかは。」ぐらいがうら覚えで他はあまり記憶には残っていません。

あらためて一段ずつ読んでみると、自分も馬齢を重ねたせいか、通世者としての兼好法師の物の見方にある時は共感したり、吉田兼好は実はまだまだ俗世に関心を持っているのではないかと思ったり、或いは世の中を達観している様子に驚かされたり、何を伝えたいのかわからない段もあつたりと毎日が驚きと発見の連続です。メンバーそれぞれが校注の違う本を持っているので比べて見ますとその解釈に違いがありますし、読み方についても異なったルビがふつてあつたりして、そのようなことにも一人で読むのではない読書会の面白さを感じています。もっとも、一人で古文を読もうとは思わなかったでしょうが。

古事記については古い古い少年少女文学全集で小学生向けに書かれたものを五十年近く前に読んだだけで何の知識もありません。日本最古の国造りから始まる天皇を中心とした歴史書ですが、神話、伝説などが多く含まれています。上つ巻は天地開闢から天津日高日子浪限建鵜葺草葺不合命まで、中つ巻はその天津日高日子浪限建鵜葺草葺不合命の子の神武天皇から応神天皇まで、下つ巻は仁徳天皇から推古天皇までがおさめられています。

その中つ巻に和歌山の雄湊と竈山神社が出てくるくぐりがあります。

いわゆる神武東征で、神武天皇が今の九州から大阪湾にやって来て、浪速から大和に入ろうとしたけれど、失敗して、熊野経由に変えたところですよ。

「故、その国より上り行でましし時、浪速の渡を経て、青雲の白肩津に泊てたまひき。この時、登美的那賀須泥毘古、軍を興して待ち向へて戦ひき。ここに御船に入れたる楯を取りて下り立ちたまひき。故、其地を號けて楯津と謂ひき。今者に日下の蓼津と云ふ。

ここに登美毘古と戦ひたまひし時、五瀬命、御手に登美毘古が痛矢串を負ひたまひき。

故ここに詔りたまひしく、「吾は日神の御子として、日に向ひて戦ふこと良からず。故、賤しき奴が痛手を負ひぬ。今者より行き廻りて、背に日を負ひて撃たむ。」と期りたまひて、南の方より廻り幸でましし時、

血沼海に到りて、その御手の血を洗ひたまひき。故、血沼海とは謂ふなり。其地より廻り幸でまして、紀国の男の水門に到りて詔りたまひしく、「賤しき奴が手を負ひてや死なむ。」と男建びして崩りましき。故、その水門を號けて『男の水門』と謂ふ。陵はずなはち紀国の『竈山』にあり。」

先日この竈山神社にお参りに行き、由緒をいただきました。

「このお社は彦五瀬命を祭ります。命は第一代神武天皇の兄君で、大和平定の途中戦傷、雄水門で亡くなられ竈山に葬られました。今から千年程前の国の法律である延喜式の神名帳に『紀伊国名草郡 竈山神社』とあり、古くから官幣に与る皇室御崇敬の大社でありました。」と書かれています。

この後、神武天皇は熊野の八咫鳥に助けられて大和平定へととなります。

この読書会のおかげで神社にお参りするときはその祀られている神様の名前に興味が湧いてきました。いまままで何気なく見ていた地名も由緒のあるものが多いことに驚いています。また、神武天皇の兄が五瀬命ということで、神武天皇の時代は末子相続であったこともわかりました。

年齢を重ねることによる読書の面白さが老人力でしょうか。これからも長く楽しんで読んでいきたいと思っています。

## 高齢化社会の生き方

山本 一博



団塊の世代とは、1947年～1949年代のベビーブーム時代に生まれた世代のことをいい、1年間に約200万人位生まれた世代で現代の1年間の出生数の倍であります。この3年間の出生数が600万人、この世代が昨年・今年・来年にかけて還暦を迎えるわけです。これだけの人数が退職していくとすれば年金や医療保険は当然不足することになります。出来るだけ医者にかからず、家族に出来るだけ迷惑をかけない生き方はどうしたらいいでしょうか。

今後は定年という考え方はやめて、生涯現役という考え方で老後を迎えるのが良いのではないかと思います。

幸いにも、税理士は定年もなく、生涯現役で出来る職業です。

そのためにはいつまでも若々しい脳を持ち続ける必

要があります。

和歌山県立医大の板倉教授によれば、以下の7点を実行することにより、大きな効果があるそうです。

1. よく歩くこと  
(出来るだけ大まかで速く歩くこと)
2. よく出かけてください  
(家に独りでポツンといるのはよくありません)
3. 趣味をもってください  
(趣味に没頭してください)
4. 目標をもってください  
(達成できそうな目標を設定してください)
5. 新しいことに挑戦する  
(脳の老化は新しいことに挑戦しないことです)
6. ラジオを聴くこと  
(ラジオを聴いているいろいろ想像する)
7. 日記をつけること  
(記憶力が高まります)

さあ皆さんこれからでも遅くはありません。今から一つでも始めようではありませんか？

## 「5年ひと昔」

西川 明伸



「10年ひと昔」という慣例句は、10年で自分を取りまく環境が大きく変わってしまうことを例えたものであったと思いますが、今の私の場合は5年前には想像もつかなかった状況になっており、まさに「5年ひと昔」を実感しております。

5年前と言えば、税理士登録して1年目であり右も左も分からないまま東奔西走しておりました。所得税の確定申告時期には一括提出のため、駐車場の確保を気にしながら申告書を抱えて税務署へ日参したこともありました。

ところが、今では「電子申告」が標準業務となり、確定申告時期には時間を気にせずいつでも、どこからでも申告書を提出できるという環境になっております。

まさに、「5年ひと昔」です。

近畿青年税理士連盟和歌山県支部に入会させていただいたのも5年前でした。錚々たる先輩方がいらっしやる中で末席に置いていただき、気がつくとは本年度は和青税40周年の記念すべき年であり、その年に支部長と言う大役を仰せつかることになり身が引き締まる思いがしております。5年前には考えられない状況になっております。

しかしながら、「5年ひと昔」を実感する最大の出来事は、やはり結婚をしたということに尽きると思います。5年前にはお互いに全く知らなかった、でも同じ和歌山で過ごしていた女性と出会い結婚し、今度はパートナーとして人生を共に過ごしていくという、本当に「5年ひと昔」を実感する出来事であります。

今後年齢を重ねる度に、時が流れていくのを益々早く感じるようになるのだらうと思いますが、起こる出来事を前向きに受け入れていければ良いと考えております。

## 二人でゴール

刀祢 真大



子供が3歳になろうかとする3年前の秋、能登半島を自転車で一周するサバイバルレースに参加した。

そのころの僕はそれまで仕事と家族を中心に自分の時間を過ごしてきたため、長年楽しんできたテニスもすっかりしなくなり、なにか趣味を持ち自分の時間を作らないと自分がなくなってしまうような焦燥感から、衝動的に少年の頃はまっていたロードバイクを手に入れた。

土曜の朝、颯爽とヘルメットをかぶり、シューズを履き、近場のマリーナシティに向かってはみたが、昔とはかなり体の事情が変わっていることを差引いても、思った以上にペダルは重く、そのロードバイクは早速、高価な飾り物になろうとしていた。

そんなバカ話をクライアントにしていたら、その彼はケガをした足のリハビリを兼ねて、週に2,3日は早朝に六甲山をロードバイクで登っていて、よかったら一緒にレースでも参加したいねと誘ってくれた。これを逃せば本当に飾り物になってしまうと思った僕は、もちろんすぐに了解した。

そして能登半島を舞台にした『ツール・ド・のと

400』という8時間30分の制限時間内に141.5キロを走破するというレースに参加することになった。

その後、レース前のトレーニングのために、二人で琵琶湖を一周することになった。琵琶湖は一周が約140キロあり、レースでの距離感を掴むうえでも丁度いいコースであった。

その日までに多少の体の準備をしていた僕は、少年の頃には一日に300キロを走っていたという自信もあってかなり琵琶湖一周を軽視していた。

しかし、走り出して1時間もすると彼のスピードについていけなくなり、その後の強力な向かい風やタイヤのパンクもあり、僕の体と精神力はもう限界に近づいていた。

それでもなんとか中間ポイントの湖北の峠を登りきり、下りに差し掛かったとき2回目のパンクである。

もう駄目…僕はなんとかして帰るから先に行って欲しい、とついに弱音を吐いた。

しかし彼は「何時になってもいい、二人でゴールしよう。そうでないと意味がない」と励ましてくれ、結局13時間も掛かったが真っ暗な中ようやく一周した。

そして本番のレースでは、この琵琶湖トレーニングを教訓に減量とトレーニングを積んだ結果、制限時間を大幅にクリアし、二人一緒に6時間40分で141.5キロを完走することが出来た。

僕は少し涙を浮かべ、男同士ではあるが抱きついてしまいたいほど感動したのを覚えている。

今彼は会社の命運を掛けたプロジェクトに取り組んでいる。

もちろんパートナーとして選ばれた僕は、今度は彼にお返しする番だ、と思っている。



### 歩兵第六十一聯隊 創立百周年式典に出席して 和田 公平



私の住んでいる町は同聯隊の門前であるので町代表として出席しました。

明治三十七年二月 日露戦争勃発に伴い陸軍兵員増設の為、満州派遣から内地帰還後大阪浜寺の仮兵舎に一時寄住していましたが同四十二年 和歌山県海草郡湊村に約四十万坪の土地に新兵舎を落成し、和歌山市民の大歓迎の中移住し以来四十年近く県下の壮丁に武徳を涵養し軍紀の下、教育訓練に精進し六一の名声をあげてまいりました。

当日来賓者には第十七代聯隊長鶴澤尚信氏の御令息、第十八代聯隊長佐藤源八氏御令息それに軍人勅語を読み違え自刃した後宮清二（父は陸軍参謀総長）の中隊長西脇茂氏の御令息等出席されました。式典後和歌山城内、護国神社での懇親会で北満・中支等各作戦に又比島に渡り、サマツ山の堅塁を一挙に突破しコレヒドール島要塞を陥落し米軍を降伏せしめた等、武勲を

聞いて参りました。

又日本海海戦、旅順での戦闘等世界の列強が植民地政策により、ロシアのバルチック艦隊が北欧から出航の時フィンランド沖を通過し同国の人々が日本はアジアの小さい国で、ひとたまりもなく敗れるものと信じていたが、旅順の陥落、日本海海戦で大勝利を収めたので、世界中が驚いたようで、黄色人が白人に勝ったのが世界史上初めてで、フィンランド大使館に大勢がお祝いに訪れたそうです。

後に、岸信介が首相就任早々にインドを訪問された際に、ネール首相が日本の勝利に勇気付けられ、独立に少なからず影響を及ぼしたと話されたそうです。

現在和歌山県立商業高校前に六一会の方々浄財によって戦争の傷跡を偲び永年の平和を願って史跡として記念碑を建立されたそうです。近所に来られた際には一度ご覧下さい。



## 支部行事風景



H19.12.17 / 租税教育打ち合わせ



H20.1.17 / 支部研修



H20.5.14 / 近畿税理士会会長選挙



H20.5.16 / 意見交換会



H20.7.1 / 支部ビデオ研修



H20.5.16 / 第28回定期総会

新入会員等紹介 (敬称略)

入会



坂本 和夫 (浪速支部より転入) 平成20年1月9日 和歌山市野崎170番地の8



奥 智香子 (豊能支部より転入) 平成20年1月30日 和歌山市太田135番地の4



中曾 真二郎 平成20年2月21日 和歌山市畑屋敷雁木丁21番地 宮脇康成税理士事務所

転出

杉原 麻友子 (堺支部へ) 平成20年4月1日

退会

小林 三郎 (死亡) 平成20年1月20日

坂口 亀次 (死亡) 平成20年3月11日

上村 一雄 (業務廃止) 平成20年4月1日

田中 秀俊 (死亡) 平成20年4月13日

小山 弘 (死亡) 平成20年5月1日

前馬 幸夫 (死亡) 平成20年6月16日

南出 政朋 (業務廃止) 平成20年6月24日

山田 豊 (業務廃止) 平成20年7月25日

会 員 数

平成20年8月20日現在 237名(社)

編集後記

ガソリン価格の高騰が、一般庶民の生活を圧迫し、飲食、観光、娯楽、レジャー、医療など様々な分野で消費を減退させています。企業においても運輸業、ガソリンスタンドをはじめ広範囲にわたる業界が原料高の影響を受けて苦勞されています。その一方で、石油元売りのメジャーは過去最高の利益を更新しています。「高い高い」と言われる日本のガソリン税は、イギリス、ドイツ、フランスの半額以下でしかありません。環境意識の高い国々では、早くに目的意識をもって税制を変え、未来に備えています。先日、全国的なストライキで話題にのぼった漁業においては、ご承知のとおり重油非課税といった手厚い優遇税制があります。こうした手当のない業界(例えば運輸業界)から見れば、誠にうらやましい限りといえます。

に観察する力を備えています。激動の時代だからこそ、一般の世論に左右されることのない冷静な視点が求められているといえます。「なにが正しいのか?」に答えていくことは非常に難しいことですが、専門家としての見識が今こそ問われているともいえます。

今回も皆様のおかげをもちまして、五十五万石(第26号)を無事に発行することができました。ご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

まだまだ暑い日が続くと思いますが、どうぞご健康にはお気を付けてください。

広報委員 石川、岡野、水城



わたし達税理士は、税という切り口から、社会現象を多面的